



令和5年度 楯岡小学校 学校評価 結果

令和5年度の「学校評価」について、下記のとおりの結果でした。
ご協力ありがとうございました。
これからの学校づくりに生かしてまいります。 令和6年2月



1 学校全体【保護者】

| 項目 | 質 問 | ◎ | ○ | △ | × | ◎○ | △× |
|-----------|-------------------------------------|-----|-----|-----|----|-----|-----|
| 学校教育について | 学校は、子供たちの学校生活の充実をめざしている。 | 29% | 68% | 3% | 0% | 97% | 3% |
| | 学校は、子供の立場に立って丁寧に学習指導・生徒指導を行っている。 | 30% | 65% | 6% | 0% | 94% | 6% |
| | 学校は、家庭・地域の連携を大切にして、開かれた学校づくりに努めている。 | 28% | 67% | 5% | 0% | 95% | 5% |
| 学校生活を知る機会 | 学校行事は、年間を通してバランスよく配置されている。 | 30% | 66% | 4% | 0% | 96% | 4% |
| | 行事や授業参観から、子供たちが、積極的に参加していると感じている。 | 47% | 50% | 2% | 0% | 98% | 3% |
| | 家庭訪問、二者面談は、学校と家庭の意思疎通を図る上で有効である。 | 38% | 59% | 2% | 1% | 96% | 4% |
| | 学校は、お子さんの様子をこまめに知らせている。 | 27% | 56% | 15% | 1% | 84% | 16% |
| | 学校は、情報を積極的かつ定期的に提供している。 | 44% | 53% | 2% | 0% | 97% | 3% |

◎ほとんどの項目でプラス評価(◎・○)が90%を超えている。

□「学年担任・学級担当制」を取り入れ、一人一人の児童を複数の教職員で見守るようにしている。

⇒積極的に情報共有しながら、より深い児童理解に努めていく。

⇒いじめアンケート(年2回実施)、心のアンケート(月1回程度実施)を活用しながら一人一人の思いに寄り添い、よりよい人間関係の醸成に努めていく。

記号について

◎△: アンケート結果からの考察

□: 今年度の取組

⇒: 今後も継続又は改善



□新型コロナウイルス感染症による制限なしで、授業参観や学校行事を行っている。

⇒子供の学びの様子を見ていただき、保護者と顔を合わせたコミュニケーションの機会を設けていく。

□HPや学校だより等で学校の方針や子供の活躍の様子を積極的に発信してきた。

□新しい教育についての共通理解を深めていくため、HPや学校だより等で積極的に発信してきた。

⇒理解を深めていただくための説明の場(2月開催予定の一日入学や授業参観・研修会等)をこれからも随時設けていく。

2 学校での生活【保護者・児童】

| 項目 | 質問 | ◎ | ○ | △ | × | ◎○ | △× |
|-----|--------------------------------------|-----|-----|-----|----|-----|-----|
| 保護者 | お子さんは、学校生活を楽しいと感じている。 | 43% | 50% | 6% | 1% | 93% | 7% |
| | お子さんは、良好な人間関係を築くことができている。 | 39% | 56% | 5% | 0% | 95% | 5% |
| | お子さんは、気になることがあったとき、友達や先生に相談することができる。 | 28% | 53% | 17% | 2% | 81% | 19% |
| | 授業が分かり、学ぶことを楽しいと感じている。 | 26% | 59% | 13% | 2% | 85% | 15% |
| 児童 | 学校のみんなでがんばることを自分なりにがんばることができましたか。 | 45% | 48% | 6% | 1% | 93% | 7% |
| | 学校で、楽しく生活していますか。 | 68% | 26% | 6% | 0% | 94% | 6% |
| | 自分には、よいところがあると思いますか。 | 34% | 50% | 12% | 4% | 84% | 16% |
| | 一緒に遊んだり、楽しく話をしたりする友達いますか。 | 80% | 16% | 4% | 1% | 96% | 4% |
| | 友達や先生にほめられたり、励ましてもらったりにしていますか。 | 50% | 41% | 7% | 2% | 91% | 9% |
| | 勉強が分からないとき、先生や友達に質問していますか。 | 49% | 37% | 12% | 2% | 86% | 14% |
| | まわりで問題があるとき、何とか解決しようと行動していますか。 | 48% | 41% | 9% | 1% | 90% | 10% |
| | 授業が分かり、楽しいと感じていますか。 | 47% | 42% | 9% | 2% | 89% | 11% |
| | 授業の課題を理解し、学習後に自分でまとめたり振り返ったりしていますか。 | 38% | 45% | 14% | 3% | 84% | 16% |
| | 自分の考えを、相手に分かるように理由や根拠をそえて伝えていきますか。 | 36% | 47% | 15% | 2% | 83% | 17% |

◎自分を肯定的に見られる子供が多くなっている。

□互いのよさやがんばりを認め合う活動に、学校全体で取り組んできた。

⇒自分のよさや友達のよさに気づき、楽しく生活することができるよう、情報共有に努めていく。

⇒安心して学習に取り組み、授業の課題を理解しながら、互いに学び合うことができるよう、子供の実態に応じた学習を計画的に行っていく。



□連絡帳や電話連絡、面談等で、学校と家庭での情報共有に努めてきた。

⇒更に自分のよさに気付くことができるよう、学校と家庭の連携を深めていく。

⇒一人一人のよさを認めながら、子供の変化を見逃さず、小さなことでもその都度伝えていく。

□教職員間で情報共有の場を設け、教育相談を行ってきた。

⇒効果的な教育相談を積極的に行い、寄り添いながら学校全体で組織的に、丁寧に対応していく。

□学年担任団で情報共有をしながら児童理解と教材研究を深め、「より分かる授業づくり」を心がけた。

⇒より主体的に学ぶことができるよう、日々の生活や普通の授業の中で話し合い活動を積極的に行い、「学び合える集団づくり」を目指していく。

3 家庭での生活【保護者・児童】

| 項目 | 質 問 | ◎ | ○ | △ | × | ◎○ | △× |
|-----|--------------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 保護者 | 学校は、感染症対策への配慮を行っている。 | 30% | 64% | 5% | 0% | 94% | 6% |
| | お子さんは、自分から進んで家庭学習に取り組む習慣が身に付いている。 | 18% | 51% | 25% | 7% | 68% | 32% |
| | ご家庭で、お子さんの家庭学習の様子を見る機会を設けている。 | 19% | 60% | 17% | 4% | 80% | 20% |
| | 社会生活に必要なルールやマナーを身に付けている。 | 17% | 70% | 12% | 0% | 87% | 13% |
| | 早寝・早起きを心がけ、しっかり朝ごはんを食べている。 | 35% | 51% | 12% | 1% | 86% | 14% |
| | お子さんは、読書を楽しんでいる。 | 18% | 35% | 37% | 10% | 52% | 48% |
| | メディアの使用について、ルールを守っている。 | 11% | 49% | 32% | 8% | 60% | 40% |
| 児童 | ウイルスに感染したり、病気になつたりしないように考えて行動できましたか。 | 49% | 40% | 9% | 2% | 89% | 11% |
| | 自分の力を伸ばすために、めあてをたてて家庭学習に取り組んでいますか。 | 43% | 45% | 9% | 3% | 88% | 12% |
| | お家の人と一緒に学習したり、学習したことを見ってもらったりしている。 | 46% | 36% | 14% | 4% | 82% | 18% |
| | 学校のきまりを守って、けじめのある生活ができましたか。 | 49% | 44% | 6% | 1% | 93% | 7% |
| | 早寝・早起きを心がけ、しっかり朝ごはんを食べていますか。 | 52% | 37% | 10% | 2% | 89% | 11% |
| | 本は「おもしろい」「役に立つ」と感じていますか。 | 59% | 30% | 8% | 2% | 90% | 10% |
| | タブレットを学習の中で活用していますか。 | 63% | 30% | 6% | 1% | 93% | 7% |

△コロナ禍前の学校生活に戻つつあるため、感染症に対する意識が少し低くなってきている。
(昨年度比: 6ポイント減)

□感染症が広がらないよう、うがいや手洗いの励行や、こまめな換気を徹底してきた。
⇒り患状況について、HP等で発信し、各家庭での感染症対策に活用できるようにしていく。

△メディアとの向き合い方については、課題意識に個人差が見られる。

□ICT支援員等と連携しながら、メディアとのよりよい付き合い方を学びながら、スキルアップに努めてきた。
⇒学校で指導することと、家庭で指導することを明確にしなが、連携して取り組んでいく。
⇒中学校の学区内で統一したメディアのルールを確認していく。
⇒タブレットの持ち帰りを更に推進し、非常時にリモート学習が実践できる環境を整えていく。
⇒タブレット使用の約束や家庭への持ち帰り方については、全校で確認し、各家庭へも知らせていく。

△家庭学習の取り組み方や必要感に個人差が見られる。

□学校生活全体で、自ら課題を見つけて取り組む力や取り組みたい学習を自分で決める力を育成してきた。
⇒これまでのような画一的な宿題ではなく、タブレット等も効果的に活用しながら個に応じた家庭学習に取り組めるようにしていく。



4 評議員の皆様より（1月18日（木）開催 学校評議員会）

【○：よかった △：がんばってほしい ◇：ご意見や質問】

- 自分たちで考え、決めて、行動している。将来を考えると大切なことである。
- タブレットを効果的に使いながら必要な情報について集めたり、調べたりしている。
- △コロナ禍の影響なのかもしれないが、授業中の子供たちの元気がもっとあってもよいと感じる。
- ◇自分が6年生の時のことを思い出してみると、「自ら考え、決めて、行動する」には、課題等について、自ら問いかけたり、他者から問われたりすることが大切と考える。
- ◇来年度の修学旅行の行先の候補が、今のところ4つあるようだが、今後の進め方について聞きたい。
 - ⇒子供たち自身の想いや願いを基に決めていく。実行委員会が中心になり、そこで学べる事や経費等を調べ、プレゼンテーションを行う。
 - 保護者にも進捗状況を伝えながら決定していく。
- ◇大倉地域に2年生が校外学習に来ているが、新年度も計画があるのか。学年に応じて対応していくので、新年度もぜひ来てほしい。
 - ⇒今後も、地域のひと・もの・ことに学んでいきたい。学区である楯岡地域・大倉地域の教育資源を積極的に開発・活用していく。



5 今後の対応等

◎子供一人一人が自分のために取り組む「家庭学習」の充実を図る。

- 学校生活全体で、自ら課題を見つけて取り組む力や取り組みたい学習を自分で決める力を育成してきた。
 - ⇒授業の中でも、「自分で・自分たちで 考える 決める 活動する」を大切にし、一人一人が自分事として課題意識をもちながら学習に取り組めるように指導・支援していく。
 - ⇒「家庭学習の手引き」を再編成し、効果的に活用しながら学校と家庭の学習がつながる学びになるよう努めていく。

◎子供一人一人にとって必要感のある「タブレットPC」の利活用を図る。

- ICT支援員等と連携しながら、メディアとのよりよい付き合い方を学びながら、スキルアップに努めてきた。
 - ⇒タブレット使用時の約束について児童と共に確かめながら有効な活用に努めていく。
- 各家庭に持ち帰ったタブレットと学校のタブレットとの接続確認を進めてきた。
 - ⇒感染症での学級閉鎖等でも、学校とつながり、学習を進められる環境を整えていく。
 - ⇒持ち帰ったタブレットを積極的に活用する学習課題を検討していく。

◎未来社会を生き抜く力を育むコロナ禍明け「令和の日本型教育（楯岡小版）」の推進を図る。

- 学習活動への制限等を緩和してきたが、新型コロナやインフルエンザ等の感染症対策(こまめな換気やうがい手洗いの励行等)を徹底してきた。
 - ⇒児童が主体的に取り組む学習活動について学級懇談会やPTA総会等で説明をしていく。
 - ⇒感染状況については、保健だよりやHP等を活用して各家庭にも適時情報を提供していく。

「こいのぼり 150 匹以上を泳がせようプロジェクト」 (R5. 4. 22)



「創立 150 周年記念事業で寄贈いただいたピアノを活用したストリートピアノ演奏会」(R5. 12. 22)